

富士宮市工業振興ビジョン【概要版】

工業振興ビジョン策定の目的

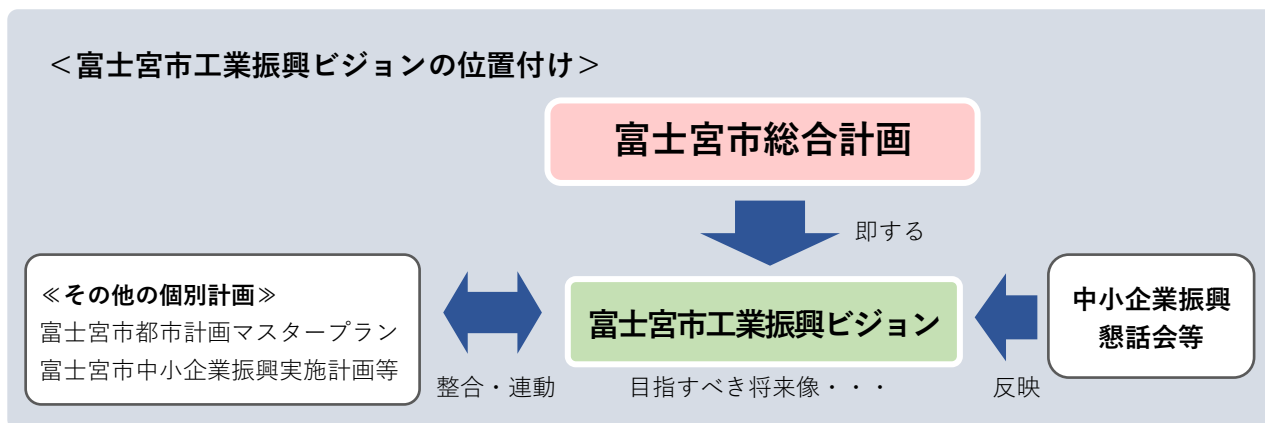
本市は、これまで工業団地を中心とした企業誘致や、市内企業の事業拡大を支援する留置策に加え、富士宮市中小企業振興基本条例に基づく中小企業の経営基盤の強化等に取り組んできました。

しかし、地域の活力を支える「工業」を取り巻く環境は、グローバル化の進展や、価値観、生活スタイルの多様化、少子高齢化の進展等による社会構造の急激な変化に加え、自然災害、新型コロナウイルス感染拡大による影響や環境問題への対応など、様々な要因により一層厳しくなっていくことが予想されています。

こうした状況に打ち克つため、本市の状況を的確に捉えながら工業振興における目指すべき将来像を掲げ、基幹産業である工業の振興を推進することを目的に、この「工業振興ビジョン」を改定します。

位置づけ

「第6次富士宮市総合計画（富士宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」に即し、その策定に当たっては、「富士宮市都市計画マスタープラン」などの既存の個別計画との整合を図ります。また、市が実施する具体的な施策については、「富士宮市中小企業振興実施計画」の中で取り組みます。



計画期間

本ビジョンは、中期的な将来像を示すものであるため、計画期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とし、上位計画等と整合を図ります。

年度 計画	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)	2035 (R17)
工業振興 ビジョン	→ 必要に応じて更新									
第6次富士宮市 総合計画	→ 前期基本計画					→ 後期基本計画				

目指すべき将来像

富士山の恵みを活かした 魅力ある産業と歩むまち

～まち・ひと・しごとが調和する産業基盤の構築～

本市は、首都圏等へのアクセス性に加え、富士山麓の広大な自然環境や豊かな水資源等の地域資源の魅力にあふれ、多彩な「ひと」や「しごと」が集まっています。

今後は、地域資源を最大限に活用しながら、様々な産業や関係者が広く連携し、共に歩み、元気に暮らすための「まちづくり」を目指します。

基本方針

基本方針 1：地域特性を活かす

富士山からの恵みを活用した特色ある産業振興を推進するため、商業、農林水産業等と連携した新たな産業の創出を目指します。

基本方針 2：地域力の底上げ

地域産業の底上げによる活性化を図るため、中小企業の経営基盤の強化を目指します。

基本方針 3：地域人材の確保

人口減少、少子高齢化社会の本格的な到来に備え、地域産業を支える人材の育成、魅力的な就業環境の創出を目指します。

基本方針 4：新たな挑戦と展開

地域企業の持続的な発展や地域の活性化に向けて、新たな産業分野の開拓等の支援に取り組み、地域の強みを活かした産業基盤の構築を目指します。

基本方針 5：レジリエンスの向上

SDGs の信念に沿った経営モデルの推進や地域企業の事業継続性の確保、新しい生活様式に対応した変革、地域防災力の強化に向けた連携などを目指します。

目標値

成果指標	現状値		目標値 (令和 12 年度)
製造品出荷額等	7,927 億円	→	1 兆円
市内で働く勤労者を増やします	20,445 人	→	21,000 人

重点的・戦略的取組方針（施策体系）

目指すべき
将来像

富士山の恵みを活かした 魅力ある産業と歩むまち

～まち・ひと・しごとが調和する産業基盤の構築～

基本方針	施策	取組
地域特性を活かす	地域産業基盤の強化	新たな産業創出の推進 企業の実態等に関する調査・支援 操業環境の改善等への支援
	新たな工業用地の確保	工業の立地等の推進 工業用地の確保
	優良・成長産業の集積	優良・成長産業の企業誘致 市内企業の留置
地域力の底上げ	経営基盤の強化	知的財産権の取得・活用に関する支援 設備投資に関する支援 事業資金調達のための融資制度・公的支援の拡充 円滑な事業承継の促進 中小企業の販路拡大に関する支援 コーディネーターによる相談支援
	多彩な連携体制の構築	ビジネスマッチングへの支援 異業種交流の促進 地域循環共生圏の連携強化と取組み
	デジタル技術の活用等	デジタル技術の活用による生産性の向上 企業におけるデジタル人材の育成
地域人材の確保	U I J ターン就職の促進	市内企業の積極的な情報発信 若者が働きやすい環境の創出 市内就業の支援 地域資源の魅力発信
	次代を担う人材の育成	技能者の技術承継の支援 デジタル人材の育成 未来へつながるスタートアップ環境の構築 地域に根ざした人材の育成
	魅力的な就労環境の創出	労働者の福利厚生の充実 多様な人材への就業支援 ワーク・ライフ・バランスの促進 地域の人材と企業のマッチング支援 女性が働きやすい環境の創出
新たな挑戦と展開	新たな事業展開への支援	ファルマバレープロジェクトとの連携 成長産業分野への参入促進 オープンイノベーションの推進による開発支援 産業支援機関等と連携した継続的な支援 ビジネスコネクTふじのみやの連携強化
	次世代産業の創出	脱炭素（ゼロカーボン）に向けた産業活動への支援 創業・起業の支援 産業構造変化への対応
	販路拡大等への支援	積極的な販路開拓等への支援 国内外に向けた情報発信等への支援
レジリエンスの向上	事業継続性の確保	リスクマネジメントに対する支援 事業継続への取組に対する支援
	新たな社会情勢やライフスタイルへの対応	新たな社会情勢やライフスタイルへの対応
	地域防災力の強化に向けた連携	企業の防災機能の強化 企業と地域との防災連携

連携・協働と役割分担による推進

「富士山の恵みを活かした 魅力ある産業と歩むまち～まち・ひと・しごとが調和する産業基盤の構築～」に向けて、行政、経済団体、産業支援機関・研究機関、金融機関と共に、地域企業等の様々な主体が、協働して地域の活性化につなげていくために、それぞれの役割を認識し、連携等の強化を目指します。

市	国や県と連携を強化し、中長期的な視点に沿って施策を展開すると共に、地域の特性や企業ニーズ等を把握し、地域の産業振興に資する企業の誘致や、工業用地の操業環境の改善、新たな事業展開等への支援制度を検討・実施し、事業の進捗管理等を行います。
経済団体 産業支援機関 等	経営支援や産業振興、企業のスキルアップ等に対する独自の支援事業を実施し、持続的な発展に努めます。 また、ファルマバレーセンター等の広域的な活動を目的とする産業支援機関等では、専門分野における独自のネットワークや事業の実施により、地域企業の継続的な発展の支援に努めます。
金融機関	市域企業の経営情報を把握し、経営面・資金面での助言や支援、企業間の取引支援等により、地域企業の成長の促進に努めます。
事業者	地域産業の主体として、自らの発展が地域産業を活性化し、豊かな市民生活や魅力あるまちづくりにつながることを認識するとともに、自らの経営資源を最大限に活かしながら、産・学・金・官の連携を積極的に推進し、経営革新や新事業の展開等により、持続的な成長に努めます。

進捗管理

本ビジョンは、「地域特性を活かして、地域力を底上げし、人材の確保等や不確実性への対応に皆で取り組み、新たな挑戦と展開」を目指すものです。推進するに当たっては、「富士宮市中小企業振興実施計画（アクションプラン）」の中で具体的な施策に取り組み、進捗の検証等を行います。

富士宮市工業振興ビジョン【概要版】

令和8年3月改定

作成：富士宮市 産業振興部 商工振興課

TEL 0544-22-1154

FAX 0544-22-1385